

令和6年度 学校経営計画書（案）

岡山県立笠岡商業高等学校

○本校のミッション（使命、存在意義）

確かな専門的知識と技術・技能を習得させる商業高校として、地域や他校等と連携するとともに、ICT（情報通信技術）化等の社会の変化に対応する力や、確かな勤労観、職業観を育む教育活動を通して、それぞれの専門分野で主体的に活躍し、社会の発展に貢献する人材の育成を目指す。

校訓
誠実
健康
努力

○学校内外の環境分析

1 内部環境

- 整備された学習環境で落ち着いた雰囲気の中、生徒は授業・各種検定取得・学校行事・生徒会活動・部活動に積極的に取り組み、明るく楽しく充実した高校生活を送っている。「本校の最大の魅力は生徒」である。
- 納得いく進路実現に向け、家庭学習の定着と基礎学力の向上と多少背伸びをした目標を持たせることが必要である。

2 外部環境

- 122年の歴史と伝統があり、地域、同窓会、保護者から本校教育に対する厚い信頼と大きな期待が寄せられている。
- 西備地区の少子化と、倉敷・岡山地区への流出、私立高校の台頭の影響が大きい。笠岡コンソーシアム事業による学校と地域の魅力づくりに期待が寄せられる。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

1 目指す学校像

- 122年の歴史と伝統の継承と発展を図り、地域の期待と信頼に応え続ける学校
- 夢や志を育み、未来を拓く資質能力、個々の可能性に挑戦させる学校
- 学習活動や行事・部活動を通して生きる力、勤労観・職業観、社会人基礎力を育成する学校

2 育てる生徒像

- 基本的な生活習慣を確立し、目標に向かって主体的に取り組み、文武両道の実践をする生徒
- 将来の職業生活を見据え、多様な資格取得や新たな興味関心に挑戦する向上心を持った生徒
- 豊かな感性とたくましく生きる力を持ち、周囲から必要とされる生徒
- 創造力・課題解決力・個性をそなえ、社会の変化に対応できる生徒
- 地域の様々な人とコミュニケーションをとり、地域貢献ができる生徒
- 5つの力（「つながる力」「考える力」「創造する力」「地域を愛する力（心）」「人のために動ける力」）を身に付けた生徒

○本年度の重点目標 合言葉：「躍進する笠商」～自己ベストの更新を目指そう～

1 生徒一人一人が「学びがい」を実感する学習活動

- 自ら学ぶ気持ちを育成し、学習習慣の定着と基礎学力の向上に取り組ませる。
- ゆうかりタイム、部活動、生徒会活動、社会貢献等、生徒が自信を持てる取組を進める。
- 図書館利用やタブレットの活用を推進し、読書の習慣や探究する楽しさを身につけさせる。

2 新時代を生き抜く社会人基礎力の育成

- 5つの力を意識した自主的・主体的な活動を促進する。
- 失敗を恐れずに、高い目標（進路・検定等）を持ち、最後まで挑戦する姿勢を育成する。
- あいさつや言葉遣い、時間管理や健康管理、5Sについて高い意識を持たせる。

3 地域に信頼される学校づくりの推進

- 中学校（生徒・保護者・教員）へのPR活動および連携の強化を図る。
- 地域に本気（人材）やホンモノ（教材）を求め、地域の教育力を積極的に活用する。

4 「創意」と「チャレンジ」の精神にあふれる組織力の高い職場づくり

- 3年間を見据え、生徒の納得した「進路」を実現するための「学びあい」や研究を進める。
- 生徒一人一人の成長を促す魅力ある授業を実現するための「学びあい」や研究を進める。
- 職場における組織的の市民行動、職場のコミュニケーション活動、親睦活動を活性化する。